

01 教会ニュース

聖霊にあって私たちは一つ!

生ける神の答えと祝福で聖霊にあって喜びと幸せがあふれた「北米支教会訪問と聖霊の満しを求める祈禱会」など韓国内外のニュース

02 いのちのみことば

イエス様の着物と下着に込められた摂理

イエス様の着物を何を意味しているか、ローマの兵士たちがイエス様の着物は四つに裂いて、下着は裂かなかった理由を調べてみる。

支教会11月スケジュール

03 企画特集

災いやさばきにも神の愛が〜

最初の人アダムがエデンの園から追い出されたことやノアの洪水のさばきなど、災いやさばきに込められた父なる神の善と愛を考えてみよう。

04 北米支教会の証し

「ハンカチの祈りでいやされました」

難聴、心臓病がいやされるなど、北米にある支教会の聖徒たちに現れたしるしと不思議を紹介。

万民ニュース

第180号 2017. 10. 22.
MANMIN NEWS
TEL: 82-2-818-7063
www.manmin.org

「キラキラ、ひらひら、トンボが伝えてくれる神様の恵み」



天国への希望があふれているから明るい笑顔の万民教会の聖徒がわかるかのように、親しげに飛んで来て指、顔、頭、肩などにとまる不思議なトンボ。
<2017年万民夏のキャンプがあったムジュトギサン・リゾートにて>

「北米支教会訪問と聖霊の満たしを求める祈禱会」

民族福音化と世界宣教のために韓国内外に建てられた支教会の総指導教師イ・ヒソン牧師が今年8月24日から9月3日まで「北米支教会訪問と聖霊の満たしを求める祈禱会」を行った。

初日の24日にはカリフォルニア万民宣教センターで聖徒との交わりと聖霊の満たしを求める祈禱会が、26日と27日にはカルガリー万民教会で聖霊の満たしを求める祈禱会と教会創立10周年記念礼拝および勸士就任式があった。

29日には、トロント万民教会で聖霊の満たしを求める祈禱会が開かれた。同教会は家庭に集まってインターネットで万民中央教会の礼拝に参加していたトロントの聖徒たちが心を一つにして聖殿を建て上げた。31日にはワシントン万民教会で、9月3日にはニューヨーク・インターナショナル万民教会で聖霊の満たしを求める祈禱会があった。

聖徒たちは信仰相談を通して神が喜ばれる信仰が何か悟って、まことの信仰の道

を明らかに提示され、聖霊の満たしを求める祈禱会では涙で悔い改めて聖霊の火のバプテスマを受け、心が新たに換えられる祝福の時間を持った。

イ・ヒソン牧師が万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力が込められたハンカチ(使徒19:11~12)で祈ったとき、心臓病、耳鳴り、難聴、記憶力減退、歩行障害などがいやされて神に栄光を帰した(4面証し参照)。

また、今回の宣教日程の間、気温が調節されてPM2.5がなくなり、いろいろな珍しい虹が出現するなど不思議がたくさん現れて、宣教チームと聖徒たちは父なる神がともにいてくださる証拠によってさらに聖霊に満たされた。

遠く離れている海外の支教会の聖徒であっても、牧者の空間の中で神の生きておられるみわざを同じように体験することで、最も素晴らしい天国、新しいエルサレムへの希望が満ちるように祝福された三位一体の神に、すべての感謝と栄光をお帰しする。



14歳のキム・ダヨン姉妹 ソウル音大主催定期演奏会 芸術の殿堂で共演

万民中央教会の芸能委員会所属「ミラクルジュニア」団員のキム・ダヨン姉妹(芸苑学校1年生、14歳)が今年7月16日、芸術の殿堂コンサートホールで開かれたソウル大音楽大学第12回ケナク同窓定期演奏会でトランペットの共演で注目を浴びた。この演奏会は9月2日、SBSテレビでも放送された。

キム・ダヨン姉妹はソウル音大主催第20回全国管楽実技大会で一位になり、この演奏会で共演することになった。この他にも韓国音楽協会主催第29回中高生音協コンクールで1位、全国音楽大学ウインドオーケストラ協会主催第13回全国管楽コンクールで1位など優れた成績を収め、神に栄光を帰す音楽の人材として成長している。



イエス様の着物と下着に込められた摂理



堂会長イ・ジェロク牧師

「さて、兵士たちは、
イエスを十字架につけると、
イエスの着物を取り、
ひとりの兵士に
一つずつあたるよう四分した。
また下着をも取ったが、…
『それは裂かないで、
だれの物になるか、
くじを引こう。』…」
(ヨハネ19:23~24)

たちによって着物と下着を脱がされたまま十字架につけられた。これはく詩篇22:18>に「彼らは私の着物を互いに分け合い、私の一つの着物を、くじ引きにします。」とある預言が成就したのである。このようにイエス様の着物について詳しく記してあるのは、イエス様の着物がイスラエルの歴史のしるしだからである。

それなら、尊い神のひとり子イエス様が卑しい被造物である人々の前で裸の恥を現された理由は何だろうか。それは、私たちが受けるべき恥を代わりに受けるためである。罪人は当然あざけられ、さげすまれ、いやしめられるべきだが、罪のないイエス様が身代わりになられたのだ。

汚物よりもっと醜く恥ずかしいものがまさに罪である。ところが、多くの人が罪の中で生きてると、罪について無感覚になった。しかし、光が照射されれば汚いものが現れるように、光である神のことばが心を照らせば、自分の中にある恥ずかしい罪がはっきり現れる。世の汚れに染まって、罪と悪の中で生きていた人々は、将来神の審判台の前に立つとき、自分の汚れた心と行いが一つ一つ現れるので、あえて顔を上げられない。

しかし、イエス様が私たちの罪を贖ってくださいましたし、私たちが受けるべき恥と侮辱とを代わりにお受けになったので、これを信じる私たちは罪人が受けるべき恥ずかしさから抜け出すようになったのだ。したがって、心の芯から主の愛に感謝して、すみやかに完全に聖められることで、一点の恥もなく主を迎えられる資格を備えなければならないだろう。

2. イエス様の着物を四分した摂理

神の御子でありイスラエルの王であるイエス様の着物は、霊的にイスラエルという国家、またその民を意味する。ところで、イエス様の上着を四分したので、着物の形がなくなって切れ端だけが残るようになった。これはイスラエルという国が滅びてその形がなくなり、着物の切れ端だけが残ったように、イスラエル民族という名前だけが残るようになることを意味している。

ローマの兵士たちがイエス様の着物を分け合ったことはイスラエルがローマ

軍によって滅ぼされることを意味し、四分されたことはイスラエルの民が四方、すなわち、東西南北に世界中に散り散りになることを表している。

くルカ19:43~44>を読むと、イエス様がエルサレムを見て泣きながら預言なさった。「やがておまえの敵が、おまえに対して壘を築き、回りを取り巻き、四方から攻め寄せ、そしておまえとその中の子どもたちを地にたたきつけ、おまえの中で、一つの石もほかの石の上に積まれたままでは残されない日が、やって来る。それはおまえが、神の訪れの時を知らなかったからだ。』とある。

このおことばどおり西暦70年、エルサレムはティトゥス将軍が率いるローマ軍によって完全に破壊され、宮を築いていた石までみな散らされてしまった。また、エルサレム陥落の過程で100万人以上のユダヤ人が殺害され、生き残った人々も東西南北に散り散りになって暮らしながら、異邦人から多くの迫害を受けなければならなかった。

ユダヤ人が遭った最も凄惨な出来事は第2次世界大戦当時、ナチスによる虐殺である。600万人以上の人々が単にユダヤ人という理由だけで裸のまま殺されたのだ。このように数多くの人々が殺されたことは、ユダヤ人が自分たちの王として来られたイエス様を殺したので、その子孫に臨んだ呪いの一つである。

ユダヤ人はイエス様を処刑させようと「その人の血は、私たちや子どもたちの上にかかってもいい。」(マタイ27:25)と告白し、そのまま報いを受けた。このようにユダヤ人はむごい苦しみ歴史を生むようになったが、イエス様の着物を四つに裂いた出来事はそのしるしである。

3. イエス様の下着をくじ引きにした摂理

イエス様の下着は縫い目なし、すなわち、いくつかの布を縫い合わせたものではない。ここで「下着」とは人の心を意味する。イスラエルの王であられるイエス様の下着はイスラエルの子孫の心を意味し、神に対する彼らの信仰を表わしている。

神の民イスラエルの先祖はヤコブである。神はヤコブの名前をイスラエルに

変えて、彼の十二人の息子でイスラエルという国の十二部族を形成なさった。イスラエルの民は長い歳月、他の民族と混ざらないで単一民族としてつながったし、唯一の神だけに仕えてきた。

ところが、ソロモン王の息子レハブアムの時、内紛が起きて、南ユダと北イスラエルに分かれた。これ以後、北イスラエルは異邦人と混ざって、単一民族の純粋性を失ってしまった。南ユダだけがまことのイスラエルの子孫として、異邦人と混ざらなかった単一民族として残った。それで、イスラエルの子孫をユダの人、すなわち、ユダヤ人と呼ぶのだ。

イエス様の下着が上から一つに織られていたように、ユダヤ人はヤコブから継続して純粋な単一民族としてつながってきた。それで、ローマの兵士たちはイエス様の下着を裂かなかったのだ。これは霊的に、神に向けられたユダヤ人の心を決して人が分けたりなくしたりすることができない、という意味である。結局ローマはイスラエル民族の信仰までなくせなかったのだ。

エルサレム陥落以後、散り散りになったユダヤ人は長い歳月苦しみにあいながらもアイデンティティを失わず、ついに1948年5月14日、父祖の地に戻って独立国家を建てたのだ。これはくエゼキエル38:8~9>の預言がそのまま成就したものである。この世のどの民族がひどい迫害と苦しみを受けながらも民族性と固有の信仰を守って、滅亡して約1900年ぶりに国を回復するだろうか。

イスラエルの先祖であるヤコブから受け継いだ民の心と信仰がそれだけ堅固で、上から一つに織ったイエス様の下着がそのまま保存されたことが、まさにこのような歴史をあらかじめ知らせてくれているのだ。

愛する聖徒の皆さん、

このようにエルサレムの陥落やユダヤ人の苦しみ、イスラエルの滅亡と再建など、すべてが聖書に記されたとおりに成就された。まだ成就していないのは、今後起きる出来事として、主が私たちを連れに再び来られることである。目を覚まして祈り、すみやかに花嫁の備えを終えて、再び来られる主を迎えられるよう、主の御名によって祈る。

11月支教会スケジュール

11月19日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・マルコ牧師)	11月26日(日)	名古屋万民教会	癒しの集い(講師:時國みや子牧師)
11月19日(日)	大阪万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・モニカ牧師)	11月29日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 ^{やなぎ} スンギル牧師)

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
 編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
 編集発行: 万民中央教会
 〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
 TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

災いやさばきにも込められている 「神の善と愛」を知っていますか



事例1 最初の人アダムがエデンの園から追い出されたこと(創世記2～3章) 善と愛である神の知恵でまことの子どもを得るようになる人間耕作の始まり

最初の人アダムは神の恵みと愛のうちに大きい権威と力を受けて味わっていたが、神が禁じられたただ一つのおことばを心に留められなくて不従順の罪を犯した。

「…あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」(創2:16～17)

アダムの不従順はルシファーの裏切りのように神のお心をひどく痛めて苦しめることだったし、まことに洗い清めがたい重い罪だった。人類に罪が入って来る出発

点になったが、神はアダムが直ちに死ぬのではなく、この地上に降りて来て生きていながら死を迎えるようになさった。耕作の過程を通して神が下さった愛のまことの意味を悟り、心から過ちを悟って、救いに至る機会を与えられたのだ。

神は罪によってエデンの園から追い出されるアダムとエバに皮の衣を作って着せられた(創3:21)。彼らが罪と悪の世で味わうことになる苦しみと悲しみ、厳しい肉の環境で生きていながら受けるべき苦しみと労苦をあまりにもよくご存じだったので、もどかしい心で心配して憂

いてくださり、愛をもって衣を作って着せられたのだ。

これに対してアダムとエバはこの地上で生きていた間、皮の衣を眺めて、自分たちを愛で抱いて機会を与え、その愛を感じさせてくださった温かい父として胸の奥深くしまっておき、その愛の力で勝ち抜くことができた。

罪を犯したアダムがエデンの園から追い出され、呪われた地で生きることになったのはまことに心痛むことだが、その中には神の深い善と愛が込められているのだ。



事例2 ノアの時代の洪水によるさばき(創世記6～9章) 悔い改められる十分な時間を与えて最後まで待つておられる父なる神

ノアの時代の洪水によるさばきは、その当時罪と悪があまりにもはびこっていて、この地上でこれ以上人間耕作を続けられないと判断された父なる神の最後の選択だった。

神はノアと彼の家族以外はすべての人が死ぬことをご存じだったが、最後までいのちに導く方法を探された。ノアを通して箱舟を作るようになり、さばきが来ることと悔い改めて立ち返ることを叫びに叫ぶようにされ、広く伝えられるだけの十分な時間と機会を与えられた。

それどころか、箱舟が完成して、神の命でノアと彼の家族と各種の動物まで箱舟に入った後も、さらに七日間も待たれた。しかし、ノアの時代の人々は洪水になる直前まで罪と悪にふけて生きていた。神はこのような人の心をよく知っておられながらも、憐れみと慈しみの心でまたも機会を与えて待たれたのだ。

結局、大洪水のさばきは始まって、神の御目からは涙がポロポロこぼれ落ち、御衣のすそに「期待する」という字に彫られた。ここには「再び期待して待つし、必ず成し遂げる」という意味が込められている。

この出来事は人の子らの悪のゆえ神の公義にかなうように臨んだし、より多くの魂の救いのためのやむを得ない最後の手段だった。しかし、神は当然のことと思われず、あまりにも心を痛められて、再び洪水でさばかないと虹を見せて契約を立ててくださった(創9:8～17)。

その結果、ノアの子孫を通して信仰の父アブラハム、出エジプトの指導者モーセ、神の力を行う預言者エリヤなどが出て来たり、ダビデの根イエス様が人となってこの地上に生まれ、すべての人が救われる道が開かれた。



事例3 ソドム、ゴモラに下された火によるさばき(創世記18～19章) 機会を与えに与えてでも、何としてでもいのちを与えようとなさる神の初めの心

神は「罪から来る報酬は死」という公義に従って働かれるが、いのちを与えるような一抹の可能性だけあっても、さばかないことを望んでおられる。それで、ソドムとゴモラが神のさばきを免れる道はないのか探ろうと、ご自身でふたりの御使いのかしらを伴ってこの地上に降りて来られた。しかし、罪と悪がはなはだ重く、さばきが臨むしかなかった。

アブラハムの切なる願いで、ソドムとゴモラに正しい者が十人だけいてもさばきを収めると約束までされたが、残念なことに、その大きい町ソドムとゴモラに神が救い出されるような人が十人もいなかった。ここで「正しい者」とは神がご覧になっていのちを与えるほどの人のことで、十人だけいてもさばきを収めて、再び機会を与えられようとなさったのだ。

神は愛をもって求めるアブラハムを覚えて、おいの口と彼の家族には救いの機会を与えられた。これが機会を与えに与えてでもいのちを与えようとなさる神の初めの心、すなわち、善と愛の心だ。したがって、ソドムとゴモラのさばきには、何としてでもいのちを与えようとなさる父なる神の初めの心が込められている。



事例4 モーセに立ち向かったコラとその仲間を臨んださばき(民数記16章) 罪と悪を遮断してより多くの魂を救われるための神の善と愛

神のことばによって出エジプトの指導者モーセがイスラエルの民をカナンに導いているうちに、コラとダタン、アビラムなどが仲間の二百五十人と共謀してモーセとアロンに逆らい、立ち向かう言葉をはばからないと、彼らを地がのみこんで、火が焼き尽くすさばきが臨んだ。

コラとその仲間は神の人モーセに立ち向かっただけでなく、勢力を集めて多くの民まで死の道に向かうように反逆を企てた。これは神に立ち向かったのと変わるところがなかったし、万一彼らをそのまま置いておけば、イスラエルの民全体に致命的な害を及ぼしかねなかった。したがって、神は愛と公義にあって彼らの悪にふさわしい報いを下されることによって、残りの民までま

かり間違えば誤った道にはまらないように、決断が必要だったのだ。

以前にもイスラエルの民の罪と悪が程度を超えたことが何度もあったが、神は寛容に寛容を尽くして耐え忍びながら、彼らをカナンに導いて行かれた。ところが、またもレビ族に属するコラとルベン族に属するダタンとアビラムの反逆によって、残りの民まで神の御前にひどく大きい罪を積むことが起こるならば、民全体が滅ぼされることもある、まことに危急の事態が起きた。

これに対してモーセとアロンがイスラエルの民全体に臨む神の御怒りを収められるようにと懇願し、結局コラと彼に同調した仲間だけが御怒りのさばきを受けるようになった。そして、コラの子孫だけが反逆に参加しなかつ

た人々には、続いてレビ族として任務を果たすようにならされた。民全体を考えると、コラとその仲間をさばかれたこの事件が結果的には多くの人を救う良きわざになったのだ。

また、神の人に立ち向かうことが神の御前にどれほど大きい罪なのかを民全体に戒めとすることによって、それ以後芽生える可能性のある罪と悪をあらかじめ遮断された。

このようにさばき自体はまことに心痛むことだが、これを通してより多くの魂を救って神の摂理を成し遂げるようになるなら、結局はいのちを与えようとなさる父なる神の善と愛の心でなされたことを悟り、再びそのようなことがないようにするべきだろう。



「万民に出会って難聴がいやされまことのしもべの道を悟りました」

ナンシー・ブリザード牧師
(69歳、アメリカ・天国への希望教会担任)

2年前、テレビでキリスト教のチャンネルを探していてGCN放送に接するようになりました。そこで伝えられているイ・ジェロク牧師の説教は非常に素晴らしいものでした。正しく生きることと罪について教えてくださいました。

それで、牧会者として正しく生きることと罪について大胆に伝えなければならないことを悟ったし、イ・ジェロク先生の著書『天国』を読んだ後は、主のためにさらに献身するまことのしもべにならなければと心を固めました。

私はメニエール病による難聴のせいで、誰かと話をするとき、よく聞こえません。いつももっと大きい声で話すと頼まなければならなかったし、電話をする時は、スピーカーにしなければなりません。

ところが、8月24日、カリフォルニア万民宣教センターで開かれた「聖霊の満たしを求める祈祷会」の時、講師イ・ヒソン牧師がイ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力の込められたハンカチ(使徒19:11~12)で祈ってくださった後、突然両耳に音が大きく聞こえると、いやされたのです。今は話をするとき声がよく聞こえて、もうスピーカーホーンにしなくても大丈夫です。ハレルヤ!

もし私が両耳に補聴器をつけて働いていたとすれば、聖徒たちは信仰を持ちにくかったでしょう。このようにいやしていただき、いのちのみことばでまことの信仰生活について伝える主のしもべになれるように導いてくださった父なる神様に、すべての感謝と栄光をお帰しします。

「記憶力減退で苦しんでいましたが、愛をもっていやしてくださいました」

ルイス聖徒
(44歳、アメリカ・フロリダ州マイアミ)

2014年、エンラセ(スペイン語圏最大のキリスト教放送)を通して万民中央教会を知るようになりました。堂会長イ・ジェロク牧師の説教は非常に感動的だったし、特に「十字架のことば」と「信仰の量り」「愛の章」「善」にとっても恵みを受けました。私と妻ジェシカは2015年にインターネットで登録して、万民教会の聖徒になりました。

今年8月31日、ワシントン万民教会でイ・ヒソン牧師(万民全支教会総指導教師)を講師に「聖霊の満たしを求める祈祷会」が開かれました。私たち夫婦も慕って参加して異言の賜物をいただきましたが、温かい神様の愛を感じて幸せでした。しかも私の記憶力減退症状が改善されたし、妻もストレスと深い心理的圧迫感で苦しんでいましたが、神様の愛を悟って感謝と喜びがあふれました。ハレルヤ!



「ハンカチの祈りで私と母の心臓病がいやされました」

ナンシー聖徒
(59歳、アメリカ・福音主義キリスト教教会)

今年8月31日、カルロス牧師の案内でワシントン万民教会「聖霊の満たしを求める祈祷会」に参加した私は講師イ・ヒソン牧師から神の力の込められたハンカチで祈ってもらった後、驚くべき神の力あるわざを体験しました。

普段私は耳鳴りのせいで目まいがして自由に動けなかったし、心臓病の薬を服用していました。ところが、万民賛美を歌っている間に目まいがなくなったし、ハンカチの祈りを受けた時は、全身が熱くなると耳鳴りが消えてよく聞こえるようになっただけでなく、心臓病がいやされたと確信できました。

それだけでなく、心臓病で入院中だった母レイチェル(78歳)も慕って信仰を持って参加しましたが、ハンカチの祈りを受けた後、からだに力が与えられてよく歩いて走れるようになったし、階段も自由に上がり下りできるようになったのです(下の写真)。ハレルヤ!

ハンカチに込められた神様のみわざは驚くばかりです。万民教会に出会えるように導かれた愛なる主に心より感謝しています。



26度の気温、いろいろな虹などで見せてくださった愛の証拠



8月24日、カリフォルニア万民宣教センター「聖霊の満たしを求める祈祷会」があったその週は気温30~43度で蒸し暑いという予報だった。しかし、その日の最高気温は26.2度で、さわやかな天気の中に祈祷会が行われた。

カルガリー万民教会があるカナダのアルバータ州の近隣では、最近1か月以上続いた大規模

な山火事によって東京23区の約5倍の面積が焼失し、これによって発生した煙と燃焼物などから生じたPM2.5で2か月間きれいな空が見られなかったという。しかし、宣教チームが到着する前日、神様が恵みの雨を降らせてくださり、当日8月25日にはPM2.5のない快晴で日程をこなせた。

8月29日、トロント万民家庭教会で聖霊の満たしを求める祈祷会があったが、この日の天気予報は19度の肌寒い天気になるだろうといったが、神様は26度の最適な気温になるよう働か



出典:www.cbc.ca/news/canada



カナダの山火事「非常事態」4万人

出典:YTN

れた。

トロントに移動する8月28日、宣教チームは飛行機の翼を取り巻いた珍しい虹と丸い虹を見ることができた(写真3,4)。8月30日、ワシントン万民教会に移



動する時は聖霊の火の形をした珍しいオーロラのような虹を見たし(写真2)、ニューヨークに到着した9月1日には丸い虹を(写真1)見ることができた。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980
- イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- 岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691
- イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌鳥町5-775-15
T) 098-914-3027 FAX兼用
<http://www.osmanmin.com/>
- イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472